

## ポスター発表プログラム

学会は発表の機会を提供しているもので、内容に含まれる技術や研究の成果について保証しているものではないことをお断りします。

発表日程 奇数番号：7月19日(水)、偶数番号：7月20日(木) (ハイフンの後の2ケタ数字)

## ポスターセッション1 除染技術、除染事例

P1-01	マイクロ波処理による汚染土壌の脱セシウム化	○山岸皓彦(環境測定品質管理センター)、田村堅志(物質・材料研究機構)、山下浩(愛媛大院理工)、佐藤久子(愛媛大院理工)、森田昌敏(環境測定品質管理センター)
P1-02	遊星ボールミル粉砕法を併用した汚染土壌の脱セシウム化	○山下浩(愛媛大院理工)・田村堅志(物質・材料研究機構)・佐藤久子(愛媛大院理工)・森田昌敏(環境測定品質管理センター)
P1-03	ゼオライト・ケイ酸カルシウム系セシウム吸着材の農作物に対する影響について	大石徹(日鉄住金セメント株式会社)
P1-04	土壌中の放射性セシウムの特性と酸抽出効果	○森田昌敏、山岸皓彦(NPO法人環境測定品質管理センター)、田村堅志(物質・材料研究機構)、山下浩、佐藤久子(愛媛大院理工)
P1-05	クロスフローシュレツダによる放射性物質除去の処理技術	野島剛(鹿島環境エンジニアリング(株)事業統括部産業廃棄物処理グループ)
P1-06	放射性セシウム捕捉PVAネットの樹木除染試験	○印藤嶺、石井真吏、安岡実、中田浩義(ダイオ化成(株))
P1-07	光合成細菌を用いた除染で生じた洗浄廃液の浄化	○佐々木慧(広島国際学院大学)、萩尾勝美((株)萩尾工業)
P1-08	木質バイオマスから微生物発酵によって製造される全く新しい特異的セシウムキレーター	○大塚祐一郎(森林総研)、敷中一洋(産総研東北)、緒方啓典(法政大)、中村雅哉(森林総研)、片山善博(日大)、亀山敏治(環テックス(株))
P1-09	Csの森林土壌中移動におけるコロイドの寄与	○下川諒、米田稔、島田洋子(京都大学工学研究科都市環境工学専攻)、颯田尚哉(岩手大学農学部)、菅原大輔(岩手大学農学部附属寒冷フィールド教育研究センター)
P1-10	安定同位体を用いた土壌の放射性セシウム捕捉ポテンシャル迅速測定法の開発	下村遼平(ヤンマー株式会社)、米田稔、○島田洋子(京都大学工学研究科都市環境工学専攻)、池上麻衣子、福谷哲(京都大学原子炉実験所)、颯田尚哉(岩手大学農学部)、菅原大輔(岩手大学農学部附属寒冷フィールド教育研究センター)
P1-11	マイクロバブル浮選による炭酸塩コロイド粒子の浮上除去	○石野翔太、日下英史(京都大学大学院エネルギー科学研究科)
P1-12	植物焼却灰からのセシウム溶出挙動に関する研究	○木村建貴、福谷哲、池上麻衣子、大下和徹(京都大学大学院工学研究科)
P1-13	汚染状況重点調査地域等における除染活動支援	○内田伸一((国研)日本原子力開発機構福島環境安全センター)、萩野谷仁(検査開発(株))、山田耕治(東京電力ホールディングス)、西野克己(検査開発(株))、川瀬啓一、岡田尚((国研)日本原子力開発機構福島環境安全センター)
P1-14	市町村除染における住宅除染の実施状況について	西内征司(福島県環境創造センター)

## ポスターセッション2 廃棄物対策

P2-01	除染活動で発生した排出液に対する土壌吸着特性の評価	○石森洋行、遠藤和人、新井裕之、山田正人(国立環境研究所)
-------	---------------------------	-------------------------------

P2-02	仮設焼却施設における放射性Csの焼却残渣への移行・溶出挙動調査～廃棄物種類の違い～	○藤原大, 倉持秀敏(国立環境研究所・横浜国立大学), 前背戸智晴(国立環境研究所・神鋼環境ソリューション(現在)), 伊藤浩平, 大迫政浩(国立環境研究所)
P2-03	福島県における原発事故後の産業廃棄物の流れ	○山田正人(国立環境研究所福島支部), 吉田博文(福島県環境創造センター), 立尾浩一((一財)日本環境衛生センター)
P2-04	焼却灰からのSr溶出特性	○山本貴士, 竹内幸生, 高田恭子, 大迫政浩((国研)国立環境研究所)

### ポスターセッション3 減容技術

P3-01	プルシアンブルー共沈法とイオンクロマトグラフィーを用いるセシウムの定量	○大野泰斗, 釜谷美則(工学院大学)
P3-02	含フッ素低温溶融塩を用いた汚染土壌の減容化システム	○佐藤駿, 佐藤理夫(福島大学), 天野倉夏樹, 坪倉史朗(日本曹達)
P3-03	機能性磁性鉄粉を用いた乾式土壌分級による除染技術	○久保ひとみ, 三苦好治(県立広島大学総合学術研究科), 中島春介, 岩間彩, 佐藤友祐(三和テッキ(株)技術本部)
P3-04	溶融塩を用いた放射性セシウム除去における土壌性状の影響と対策	○長谷川匠(福島大院理工), 佐藤理夫(福島大理工)
P3-05	実除染土に対する乾式除染土壌分級法	○中島春介, 岩間彩, 佐藤友祐(三和テッキ株式会社), 久保ひとみ, 三苦好治(県立広島大学総合学術研究科)
P3-06	湿式ミリングー酵素支援微粉化処理が放射能汚染した植物バイオマスの放射性物質の動態に及ぼす影響	○金原和秀, 木村光平, 新谷政己(静大院・総合科技), 大塚祐一郎, 中村雅哉(森林総研), 佐々木慧, 佐々木健(広島国際学院大), 中島田豊, 加藤純一(広大院・先端)

### ポスターセッション4 計測技術

P4-01	微量セシウムの高感度計測における機器分析の前処理法としての均一液液抽出の検討	○押手茂克, 海藤育未, 諏江なつき(国立高専機構福島高専)
P4-02	稲わらの放射性セシウム濃度測定における誤差要因の検討	○鈴木隆央, 藤原大, 竹内幸生, 千村和彦, 山本貴士, 倉持秀敏, 大迫政浩(国立研究開発法人国立環境研究所)
P4-03	家屋内における放射性物質分布の現場測定と清掃による除染効果	○田中敦・高木麻衣・土井妙子・中山祥嗣(国立環境研究所), 菅野宗夫・土器屋由紀子・田尾陽一(ふくしま再生の会)
P4-04	市販パーツとラズパイによる低価格な放射能鉛直分布測定パイプの製作	○小川浩, 南公隆, 川本徹(産業技術総合研究所), 金井羅門, 石川晃平, 上村竜一(東京パワーテクノロジー)
P4-05	トビケラウオッチ(第3報)水生昆虫を用いた河川環境の放射性セシウムモニタリング	○上野大介, 松尾友貴, 染谷孝(佐賀大学農学部), 水川葉月, 稲波修(北海道大学大学院獣医学研究科), 苜木洋一, 長坂洋光, 水谷太(いであ(株)環境創造研究所), 藤野毅(埼玉大学大学院理工学研究科), 大葉隆(福島県立医科大学), 渡邊泉(東京農工大学大学院農学研究科), 龍田希, 仲井邦彦(東北大学大学院医学系研究科)
P4-06	焼却炉内放射能蓄積分布の可視化	水原詞治(龍谷大学), 前背戸智晴, ○竹内幸生, 伊藤浩平((国研)国立環境研究所), 小澤慎吾, 中原修((株)千代田テクノ), 山本貴士, 倉持秀敏, 大迫政浩((国研)国立環境研究所)
P4-07	銅置換体プルシアンブルー担持不織布カートリッジを用いた淡水中の放射性セシウムのモニタリングの簡易化、低コスト化	○保高徹生(産業技術総合研究所), 伊東かおる, 星野輝彦, 新野美佐子(福島県農業総合センター), 今藤好彦(日本バイリーン(株))
P4-08	4 $\pi$ 均一方向特性ディテクタによるGPS連動走行毎秒測定システム	平山貴浩, 河野孝央((株)日本遮蔽技研) 《発表者確認中》

P4-09 ストロンチウム90カウンター高性能化研究 ○伊藤博士, 榎本有作, 河合秀幸, 田端誠(千葉大学)

#### ポスターセッション5 陸域・海域の汚染

P5-01 土壌中Cs-134, Cs-137の濃度分布及び濃度分布に基づく土壌の遮蔽を考慮した線量率の解析手法に関する研究 吉井聖人, 佐藤治夫(岡山大学大学院自然科学研究科)

P5-02 樹種の異なる林地斜面土壌における放射性セシウム鉛直分布の変動 ○井倉将人, 江口定夫, 吉川省子(農業環境セ), 大越聡(福島農総セ)

P5-03 福島県内森林立木の部位別放射性セシウム濃度の地域的分布特性 ○山村充, 氏家亨, 海虎(国土防災技術(株))

P5-04 山火事が発生した森林における放射性物質の動態 ○氏家亨, 山村充, 海虎(国土防災技術(株))

P5-05 放射性セシウムの溶出特性: ダム湖集水域における粒子状物質を対象として ○西村直美(立命館大学院), 佐藤圭輔(立命館大学), 池上麻衣子(京都大学)

P5-06 宮城県南丸森町の森林エッジでのパイオマス流出とその処理について: 鳥瞰写真を用いた森林全体のセシウム動態考察とともに ○原田茂樹(宮城大学), 市川健・那須野新(復建技術コンサルタント), 柳澤満則・高橋信人(宮城大学)

P5-07 特別除染区域における里山の特徴の整理 ○栗原モモ, 保高徹生(産業技術総合研究所)

#### ポスターセッション6 環境再生・復旧・復興、食の安全、リスクマネジメント、野生生物

P6-01 水稲栽培における放射性Csの移行抑制及び食味に対する有用微生物群(EM)の施用効果 ○奥本秀一(株EM研究機構), 新谷正樹(株EM研究機構・東京女子医科大学循環器小児科), 比嘉照夫(名桜大学国際EM技術研究センター)

P6-02 しいたけほだ木伏せ込み時の放射性セシウム汚染要因究明について ○上野滋樹, 幡谷敏哉, 本條秀子(東京電力ホールディングス(株)福島本部除染推進室)

P6-03 キノコ放射性Cs濃度は発生回数が多くなると突然に1桁高まるだろうか? 長谷川榮一(元宮城県古川農業試験場)

P6-04 福島第一原発の地震被害と1号機の解析 飽本一裕(帝京大学大学院)

P6-05 心理放射能学によるリスクコミュニケーションの分析 ○大谷浩樹(帝京大学), 木下麻友子, 津村奎(首都大学東京)

P6-06 コケによるセシウムの吸収 ○森村浩司, 相澤朋子, 上田賢志, 砂入道夫(日本大学生物資源科学部)